

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040123

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	生産体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	新規狩猟者確保対策事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	狩猟者の確保			#N/A		
事業目標	1名		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	助成金の支出					助成金の支出
	事業費(千円)	0	0	0	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値				1名
	(継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	備考欄					

事業名	新規狩猟者確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	新規狩猟者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	新規狩猟者数								
【抱える課題やニーズは】	狩猟者の高齢化や減少	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	若手狩猟者の増加	① 新規狩猟者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1名</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>0名</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>0.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1名	実績値	0名	達成度	0.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1名										
実績値	0名										
達成度	0.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	狩猟者の確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	狩猟免許試験日程等の周知及び雄武町新規狩猟者確保対策助成金の制度周知	6月号町広報紙に狩猟免許試験日程や雄武町新規狩猟者確保対策助成金の制度について掲載した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	狩猟者の高齢化や減少が進んでいるなか、新たな狩猟者や狩猟免許取得に意欲的な方が増えてくることを期待したいが、免許取得時に個人で負担しなければならない必要経費が比較的高額であることから、経費の一部を助成し、免許が取得しやすい環境をつくり、狩猟者の確保を図る必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	制度利用者がいなかったことから、制度PRの工夫や産業団体、猟友会を通じた潜在者の掘り起こしも必要である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

課題あり	判断の理由	制度利用者がいなかったため、狩猟者の確保に至らなかった。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	鳥獣被害を防止するため、狩猟者の確保を目的とする事業であり、受益者負担も伴うので公平である。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>B</b>	
	狩猟免許を取得しようとする方の経費負担の軽減となり、狩猟者の確保につながることを期待されることから、制度PRの充実に努めていく必要がある。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/現状維持</b>	
	本事業を実施することで、狩猟免許取得にあたり負担が軽減されて、取得しやすくなり、狩猟者の確保につながることを期待できることから、現状維持が適当である。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止